



はんなん  
Hannan City Council

# 市議会だより

2020年  
令和2年  
11月号  
NO.118

発行：阪南市議会 編集：議会広報編集委員会 〒599-0292 大阪府阪南市尾崎町35-1 TEL 072-471-5680(直通)

今年度は、コロナ禍の中「コロナに打ち勝て」をテーマに、市内の経済再生の突破口として、大物産展や各種イベントなど『第20回 はんなん産業フェア』が、下記日程で開催されます。

**日時** 令和2年11月22日(日) 9時30分～15時  
**場所** 阪南市商工会館及び市役所周辺

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため開催が中止・変更となる場合があります。



▲昨年の7月7日(日)に阪南市の賑わい創出等を目的に開催された『尾崎駅元気出そうフェス・はんなんうまいもん市』の様子

10月  
臨時会

議会の新構成決まる .....

2

9月  
定例会

令和2年度一般会計補正予算(第6号)等を審議 .....

4

一般質問 .....

7

委員会  
レポート

阪南GIGAスクールビジョンについて .....

12

# 第2回 臨時会

# 議会の新構成決まる

令和2年第2回臨時会を10月6日に開催し、議会の役員等を選出しました。



監査委員

じょう こう まこと  
上 甲 誠



副議長

ふく だ まさ ゆき  
福 田 雅 之



議長

なか たに せい ごう  
中 谷 清 豪

## 総務事業 常任委員会委員

主に下記の内容を審査します

- 市の財政に関する事
- 危機管理、防災に関する事
- 都市計画、まちづくりに関する事
- 下水道に関する事
- 職員の人事、給与に関する事
- 他



委員  
渡辺 秀綱



委員  
河合眞由美



副委員長  
二神 勝



委員長  
畑中 譲



委員  
岩室 敏和



委員  
中谷 清豪



委員  
上甲 誠

## 第2回臨時会にて可決した議案（議会役員等の選挙、選出を除く。いずれも全会一致。）

・財産の譲渡について

・財産の取得及び無償譲渡について

厚生文教  
常任委員会委員

主に下記の内容を審査します

- 環境保全に関する事
- 国民健康保険、国民年金に関する事
- 福祉施策に関する事
- 子育て支援に関する事
- 教育に関する事 他



委員  
福田 雅之



委員  
大脇 健五



副委員長  
中村 秀人



委員長  
見本 栄次



委員  
浅井 妙子



委員  
角野 信和



委員  
山本 守

駅周辺整備特別委員会	◎中村 秀人 渡辺 秀綱	○山本 守 見本 栄次	河合眞由美 岩室 敏和	福田 雅之
子育て拠点整備特別委員会	◎二神 勝 角野 信和	○上甲 誠 畑中 讓	大脇 健五 浅井 妙子	山本 守
議会運営委員会	◎畑中 讓 上甲 誠	○二神 勝 岩室 敏和	大脇 健五 (福田 雅之)	角野 信和
泉南清掃事務組合議会	中谷 清豪 中村 秀人	福田 雅之 山本 守	上甲 誠	見本 栄次
泉州南消防組合議会	中谷 清豪	畑中 讓	二神 勝	
大阪広域水道企業団議会	畑中 讓			
議会広報編集委員会	◎上甲 誠 角野 信和	○中村 秀人 浅井 妙子	河合眞由美 (福田 雅之)	二神 勝

※◎委員長 ○副委員長 ( ) オブザーバー

※議長は全ての委員会に出席する。

第3回  
定例会令和2年度一般会計  
補正予算(第6号)を可決

- ・市民生活や事業者への支援
- ・行政IT化・キャッシュレス化
- ・3密対策の環境整備等

## 補正予算

令和2年度阪南市

一般会計補正予算(第6号)

令和2年第3回定例会を9月1日から24日までの24日間の会期で開催しました。本定例会では、条例改正6件や補正予算10件等を可決した他、令和元年度歳入歳出決算を全会一致で認定しました。また、議会から提出した議会議案1件は、賛成少数で否決。意見書3件のうち、2件は全会一致で採択。1件は賛成少数で否決しました。

本補正予算の主なものは、行政IT化・キャッシュレス化を進めるため、

- ①行政手続オンライン化サービス導入事業
- ②テレワーク導入事業及びキャッシュレス決済導入事業
- ③新型コロナウイルスによる臨時休業後の子どもたちの学習支援等を行う学習支援員配置事業
- ④人間関係への構築や感染への不安等に関わり、園児児童生徒、保護者等への心理ケアを行うスクールカウンセラ配置事業等への予算計上で歳入歳出2億9872万7千円増の245億9809万5千円とするものです。

本議案は、総務事業常任委員会及び厚生文教常任委員会へ分割付託しました。

各委員会における主な質疑・答弁は、次のとおりです。

**委員** 高齢者インフルエンザ予防接種助成事業の内容と周知方法を伺う。

**課長** 65歳以上のインフルエンザ予防接種にかかる自己負担を無料化とする。また、接種率の大幅増加が予測されることから、接種期間を10月1日から翌1月31日までとする。周知方法は、広報誌、ウェブサイト、阪南TV、ポスター、各種健康教室で行う。



**委員** 行政手続オンライン化サービス導入事業について、住民票や印鑑証明の手続は、マイナンバーカードがなければできないのか。

**課長** 本人確認の意味でマイナンバーカードを使うことになる。これは国からも指針が出ている。

**委員** 医療関係者や消防関係者への慰労金の考えは。また、飲食店も非常にダメージを負っているが。

**市長** 個人の痛みを救うのと同時に経済を立て直す事業として、商品券の発行を第1弾、第2弾と組んでいるが、まだまだ困っている方もいる。臨時交付金について、地方創生の趣旨を実感できるよう、使っていきたい。

**委員** 子育て世帯への商品券支給事業について、伺う。

**参事** 支給対象は、令和2年10月1日現在で、市内に住民登録がある中学校3年生以下の児童で一人あたり1万円。有効期限は、令和2年11月から令和3年2月15日まで。配布方法は、簡易書留にて郵送を予定している。



討 論

○原案に反対の討論

本補正予算の内容にあるコンビニ交付やオンライン申請は、定着しつつあるが、マイナンバーカード利用者のみサービスが可能になる点は問題である。本市のカード普及率は19%で、個人情報が行政や企業に管理されることに抵抗があることを示している。また、現に情報漏洩や預金口座の不正利用など、深刻な事件が相次いでいる。情報社会がもたらしている負の側面に十分に目を向け、慎重な検討を行うことを申し添え、反対討論とする。

○原案に賛成の討論

本補正予算にあるマイナンバーカードを活用した行政手続の徹底したオンライン化の推進は、本市の厳しい財政状況において最大限の国費を活用した事業であることに加え、市民負担の軽減やサービス向上につながることを期待できることから評価する。一方で今後も厳しい財政運営が予想されることからデジタル化導入にあたっては、ランニングコストが過度な財政負担とならないよう費用対効果を勘案したなかで導入を推進することを申し添え、賛成討論とする。

◎賛成多数で可決

決 算

令和元年度阪南市

一般会計歳入歳出決算

令和元年度における本市の財政状況は、固定資産税が増加となったものの、市税収入における市民税が減少したこと、前年を若干下回る結果となり、財政構造において自主財源に乏しく、依然として脆弱な財政基盤となっています。

歳入は、地方交付税の増加や地方特例交付金が増加したが、ふるさとまちづくり応援寄付金の減少や各投資的事業の減少に伴う地方債の減少等により前年度比5.2%減の183億2171万1638円となりました。

歳出は、給与カット等による人件費や基金積立金の減少、泉南阪南共立火葬場事業の終了等により、前年度比5.3%減の180億4793万7103円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を除く実質収支は2億6892万2535円の黒字となりました。

本決算認定は、決算審査特別委員会へ付託しました。付託委員会における主な質疑・答弁は、次のとおりです。

**委員** 予算委員会の際に、災害時にお金を入れずに飲料が取り出せる自動販売機の設置について質問したが、現状は。

課長 これまでに設置している市役所2台、はんなんまもる館2台については、いずれも災害時にロックを外すことで、無料で飲料が取り出せる機能になっている。併せて、昨年9月に入札を行い、新たに市役所に設置した2台についても災害時対応の自動販売機となっている。

**委員** 泉州アートサミットとその後学習会は非常に良かった。事業は継続していくのか。

**室長** 担当課としては、継続していきたいと考えている。

**委員** 今回の決算の審議について、大阪府で長年会計のスペシャリストとして携わってこられた見識から副市長のご意見を伺う。

**副市長** 厳しい財政状況を改めて、認識した。本決算は、使い方が正しいかを認定していただくだけでなく、貴重な意見をいただいたので、次の予算編成に向けて、取り組んでまいりたい。

◎全会一致で認定

賛否が分かれた議案	大脇 健五	河合眞由美	福田 雅之	山本 守	二神 勝	渡辺 秀綱	角野 信和	見本 栄次	上甲 誠	畑中 譲	中村 秀人	中谷 清豪	岩室 敏和	浅井 妙子	結果
令和2年度阪南市一般会計補正予算(第6号)	×	×	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
阪南市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	×	×	×	×	議長	○	○	×	×	×	×	×	×	×	否決
オンライン投票の環境整備を求める意見書	×	×	×	×	議長	○	○	×	○	×	×	×	○	×	否決

○…賛成 ×…反対

## 意見書 を可決し、国等へ送付しました

### ○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書（全会一致）

《要旨》新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体では、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。

よって、国においては、緊急経済対策の迅速かつ着実な推進を図られるよう、強く要望する。

### ○防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策後における予算の確保を求める意見書（全会一致）

《要旨》近年の気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、着実な治水事業の推進に加えて、治水安全度を向上させていくことが必要である。「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」をはじめとした国費を活用し、「逃げる」「凌ぐ」「防ぐ」施策を効率的に組み合わせた防災・減災対策にあっては、継続的な取り組みが求められている。

よって、国においては、地方公共団体が取り組む、防災・減災の取り組みを充実・強化していくための、必要となる予算・財源を安定的に確保し、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策後の予算措置を講じられるよう、強く要望する。

## 第3回 定例会にて可決・承認した議案等一覧

- ・専決処分事項の承認を求めることについて  
〔専決第13号〕令和2年度阪南市一般会計補正予算（第4号）
- ・阪南市南海財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて
- ・令和元年度決算審査特別委員会の設置について
- ・令和元年度決算審査特別委員会委員の選任について
- ・専決処分事項の報告について  
〔専決第12号〕損害賠償の額を定め、和解することについて
- ・令和元年度健全化判断比率について
- ・令和元年度下水道事業会計資金不足比率について
- ・令和元年度病院事業会計資金不足比率について
- ・阪南市税条例の一部を改正する条例制定について
- ・阪南市手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について
- ・阪南市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ・阪南市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・阪南市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・阪南市重度障がい者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・令和2年度阪南市一般会計補正予算（第5号）
- ・令和2年度阪南市国民健康保険特別会計補正予算

- （第1号）
- ・令和2年度阪南市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- ・令和2年度阪南市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- ・令和2年度阪南市下水道事業会計補正予算（第1号）
- ・令和2年度阪南市介護保険特別会計補正予算（第2号）
- ・令和2年度阪南市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- ・令和元年度阪南市一般会計歳入歳出決算認定について
- ・令和元年度阪南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和元年度阪南市財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和元年度阪南市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和元年度阪南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和元年度阪南市下水道事業会計決算認定について
- ・令和元年度阪南市病院事業会計決算認定について
- ・令和2年度阪南市一般会計補正予算（第6号）
- ・専決処分事項の報告について  
〔専決第14号〕損害賠償の額を定め、和解することについて
- ・財産の取得について
- ・令和2年度阪南市一般会計補正予算（第7号）

# 第3回 定例会

# 一般質問

3人の議員が代表質問を、  
6人の議員が個人質問を行いました。  
その主な内容を掲載します。



## コロナを機とする、阪南市のスマートシティ構想の推進について

(質問者)

大阪維新の会 角野 信和 渡辺 秀綱



**問** 政府はコロナを機としてデジタル化を推進し、行政コスト削減による基礎的財政収支(プライマリーバランス)の2025年黒字化目標を達成する、としています。水野市長は指定管理など『民間活力』の導入に加え、その推進を計画する「阪南市スマートシティ構想」で、行政のデジタル化によって「市民生活の質」をいかに向上させるのか? また「行政コスト削減」をいかに実現するのか?

**答** 「行かない窓口」として、証明書のコンビニ交付の導入、「書かない窓口」として住民異動届の作成支援システムの導入等の検討により、本市での暮らしやすさにつなげられるようデジタル化を推進する。また、窓口や定型業務の効率化を図るとともに、イニシャル及びランニングコストが過度な財政負担とならないよう、人件費を含めた費用対効果を勘案し取組を進める。

行政のデジタル化によって「市民生活の質」をいかに向上させるのか?  
「行かない窓口」として、証明書のコンビニ交付の導入等により、本市での暮らしやすさにつなげられるようデジタル化を推進する。(市長公室長)

## 災害時での情報発信について

(質問者)

公明党 二神 勝 山本 守 福田 雅之



**問** 防災無線での情報発信について、再三、公明党としても、これまで、あらゆる場面で質問をさせていただいたが、やはり聞き取りづらいといった、お声をいただく。屋外では聞き取れる緊急情報の放送も、室内にしていると十分に聞こえないことがある。大雨の時には音声がかき消され、放送が伝わりにくい等のご意見である。今後、おこりうる災害時での情報発信について、本市の見解をお聞きする。

**答** 聞き取りづらいという声を深刻な課題ととらえている。市では、新たな取組として、①市から発信する情報を自ら選択した、電話、フェイスブック、ツイッター、LINE等の情報媒体に一斉送信するシステムの構築②受益者負担により、ジェイコム防災情報サービスを活用し、各家庭に個別受信機を設置、無線から音声を直接自宅内で聞くことができる、高齢者や聴覚障がい者への支援策を予定している。

防災無線の放送が聞き取りづらいという声をよく聞くが今後の災害時に備え、本市の見解をお聞きする。  
市が発信する情報を市民自ら選択する情報媒体で受信できるシステムの構築等を予定している。(市長公室長)

## その他の質問事項

OGIGAスクール構想の進捗状況について  
行政デジタル化の推進について



図書館と公民館の指定管理について  
問う



上甲 誠

**問** 行財政構造改革プランの「公共施設の再構築」のうち図書館と公民館の指定管理について、その目的と今後の進め方について問う。特に阪南市立図書館は市民ボランティアも多く他に誇るべき施設です。公民館と合わせて、大切なことは「阪南市諸施設のあるべき姿、政策的な方向性・ビジョン」を明確に示し進めることで、その上で市民と寄り添い、「市民のワガゴト」であるべきと考えるのがいかがか。

**答** 指定管理者制度の導入については市民サービスの向上や、公民協働のまちづくりを着実に推進させ、活力あふれる自立した姿勢を目指すことを目的としている。公民館については現在指定管理者制度の続き中である。図書館については持続可能性・利便性・地域力を高める施設として議論を深めているところである。図書館ボランティアの皆さんの運営に対する協力をより確実なものにする。

行財政構造改革プランの「公共施設の再構築」の指定管理について、その目的について問う。  
指定管理者制度の導入については、市民サービスの向上や、公民協働のまちづくりの推進、活力あふれる自立した姿勢を目指す。(生涯学習部長)



コロナ感染防止対策について



(質問者)

日本共産党 河合 眞由美 大脇 健五

**問** 新型コロナウイルス感染者は、依然として高い水準で推移しており、市民の不安は、一層高まっている。PCR検査や抗体検査など誰でもいつでも安価で受けられる体制が求められているが、現在唾液中によるPCR検査が可能となり、患者及び検体採取機関の負担が大幅に軽減されると期待している。(健康部長)

**答** 従来の検体採取は、防護服等の準備、人材や資材の不足が課題であったが、現在唾液によるPCR検査が可能となり、患者及び検体採取機関の負担も大幅に軽減されると期待しており、行政検査は無料と聞いている。事業者に対する支援として給付金による直接的な支援ではなく、阪南市プレミアム商品券事業や子育て世帯へ地域商品券などで地域消費を喚起し、事業者の継続支援につなげて参る。

PCR検査や抗体検査など誰でもいつでも安価で受けられる体制が求められているが、現在唾液中によるPCR検査が可能となり、患者及び検体採取機関の負担が大幅に軽減されると期待している。(健康部長)



その他の質問事項  
○下荘地区コミュニティセンターについて  
○住民センターについて  
○稼ぐまちプロジェクト



その他の質問事項  
○今後のコロナ対策に関わる制度的課題について



7月	8月	9月
3日 泉州南消防組合議会臨時会	4日 総務事業常任委員会	1日 第3回定例会(1日目)
10日 大阪広域水道企業団議会全員協議会	5日 厚生文教常任委員会	2日 第3回定例会(2日目)
15日 南都市議会議長会総会	6日 議会改革推進検討会	3日 第3回定例会(3日目)
17日 議会広報編集委員会	7日 大阪府市議会議長会理事會	7日 総務事業常任委員会
17日 大阪府後期高齢者医療広域連合議会	14日 議会改革推進検討会	8日 厚生文教常任委員会
21日 議員連絡会	18日 大阪府水道企業団議会議員定数等調査委員会	10日 決算審査特別委員会
21日 大阪広域水道企業団議会全員協議会・臨時会	21日 議員連絡会・議会改革推進検討会	16日 議会運営委員会
	24日 議員連絡会・議会改革推進検討会	18日 議員連絡会・議会運営委員会
	26日 議員連絡会	24日 議員連絡会・議会運営委員会
	28日 泉州南消防組合議会定例会	24日 第3回定例会(最終日)

議会日誌

新型コロナウイルス感染拡大防止による学校休校後の対応について

浅井 妙子



**問** 今年短い夏休みだったが、これで今年中に予定されている学習内容はすべて終わるのか、進み方が早くなり学習が遅れがちの子どもたちへの対応についてはどうなのかお聞きする。学習だけでなく、今後も続く「ウィズコロナ」の中で、市内の各施設への社会見学や、野外活動、遠足、地域の方との交流など、意義ある体験活動をどう考え、秋以降の時間に位置付けていくのかについてもお聞きしたい。

**答** 1日の授業時間数の増加や朝の学習時間の活用により、今年度中に終える計画となっている。個々の学習状況は、担任が授業中の様子や課題の提出等で確認を行い、必要に応じて学習時間を設けるなどの対応を行っている。今年度の体験活動は、中止や内容変更が多くあるが、その際には、教育的意義や子どもたちの心情等を踏まえながら、代替案を検討するなどコロナ禍においても教育活動の充実に努めている。

授業の進み方が早くなり学習が遅れがちな子どもたちへの対応はどうか。  
担任が授業中の様子や課題の提出等で確認を行い、必要に応じて学習時間を設けるなどの対応を行っている。(生涯学習部長)



成長戦略としてのワーケーションの取組について

角野 信和



**問** 市有財産の利活用の視点から、ワーケーションの取組を提案する。ワーケーションは、和歌山県や長野県が、誘致に熱心なまちとして知られている。コロナ禍でリモートワークが定着してきたことも後押ししている。若い世代の地方移住への関心は高まっている。自治体は、短期滞在型から長期滞在型へ、さらには、移住定住へと期待を膨らませている。本市の基本的な考え方を、お聞きする。

**答** 本市のまちづくりにおける重要な戦略の一つとして捉えており、先進的に取り組んでいる自治体の事例研究等を情報収集し研究を進めている。自然と都会のバランスがとれた本市で働き、暮らすことの魅力を体験してもらい、生産性やQOLの向上が実現できるまちとして、大阪都市圏及び首都圏からの移住・企業誘致につながると考えている。市有財産の利活用を踏まえ、民間企業のニーズを探り環境整備を行う。

市有財産の利活用の視点から、ワーケーションの取組を提案するがいかがか。  
先進的に取り組んでいる自治体の事例研究を情報収集し、市有財産の利活用を踏まえ、民間企業のニーズを探り環境の整備を行う。(市長)



その他の質問事項  
○情報提供について  
○市民協働について



その他の質問事項  
○財政健全化について



請願・陳情の出し方

請願書・陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

- ① 請願（陳情）書は、その件名、要旨及び理由を簡単に、わかりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、提出者の住所、氏名を書いて押印してください。
- ③ 請願書は1人以上の紹介議員が必要で、表紙に署名または記名押印してください。
- ④ 紹介議員がないときは、陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は簡単な略図・図面等を付けてください。

《記入例》

<p>(表紙)</p> <p>※(請願の場合)</p> <p>紹介議員 氏名 ㊟</p> <p>〇〇に関する請願(陳情)</p> <p>請願(陳情)者</p> <p>住所 氏名 ㊟</p>	<p>(内容)</p> <p>〇〇に関する請願(陳情)</p> <p>(要旨)</p> <p>(理由)</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>阪南市議会議員(氏名)様</p>
--	---

※請願・陳情に記載された個人情報（住所、氏名等）については、会議録等へ掲載されるほか、行政文書として情報公開の対象となりますので、ご了承ください。

新しい生活様式への対応を提案する



山本 守

**問** 新しい生活様式への対応として、新型コロナウイルス感染拡大の影響が増している。感染リスクにさらされながらも職責を果たそうとする保育士や幼稚園教諭に慰労金の支給、コロナの影響をうける事業者を支援するため、市内店舗で利用できるキャッシュレス決済にポイント付与、市独自の決済システムの導入、フードデリバリー事業などを提案するが、市の見解を問う。

新しい生活様式への対応を提案するが、市の見解を問う。  
 新しい生活様式から地域課題や行政課題がでてきており、地方創生臨時交付金やICT活用を視野に入れて進めていく。(市長)

**答** ウィズコロナまたアフターコロナへの対応で、今後の新しい生活様式などを見据えた地域課題、働き方改革の支援への新たな行政課題も浮き彫りになった。本日もさまざまな意見を頂いたなかで、今後のコロナの影響を見据えながら、地方創生臨時交付金、また国の特定財源などを積極的に活用していく。またICTの導入も視野に入れて進めていく。

公民協働と企業連携



岩室 敏和

**問** 私は本市の今後のまちづくりにおいて、公民協働が必要不可欠と考え、一つは市民のみなさんとの「自分のまちは自分でつくって守る」市民自治にかかるとの協働であり、二つは企業との連携による協働である。民間企業のもてる資金や技術等を、連携により有効に活用できれば、どんな新たなまちづくりが実現できる。この二つの公民協働を効率的・効果的に活用すれば、まちは元気に活性化すると考えるが、どうか。

市民のみなさんや資金、アイデア、技術等をもつ優良な民間企業と連携した公民協働を活用すれば、まちは元気に活性化すると考えるが、どうか。  
 行政と市民・企業がしっかりと役割分担することにより、良質な公共サービスの提供、効率的・効果的な事業展開等につながるものと考えている。(総務部長)

**答** 近年の人口減少、厳しい財政状況や公共施設等の老朽化、さらに生活様式の変化に伴い、公民協働によるまちづくりの推進は益々大きなウエイトを占めていくと考えている。  
 そのなかで、企業連携は公民協働のひとつの柱であり、行政と企業がしっかりと役割分担をすることによる、良質な公共サービスの提供やその向上、効率的・効果的な事業展開等により、まちは元気に活性化すると考える。

その他の質問事項  
 ○ 転入定住促進と少子化対策  
 ○ 防災、減災対策



「定例会及び委員会の録画映像」を見ることができます。

市議会のウェブサイトでは、次回定例会のご案内や一般質問通告書、議決結果表、議会だより、定例会の「録画映像」等を掲載しています。

また、「会議録検索システム」を市議会ウェブサイトに搭載しています。これにより、本会議での内容を記録した「会議録」、委員会での内容を記録した「委員会録」をインターネットを通じてご覧いただけるようになっています。

市議会ウェブサイトには、阪南市ホームページ左段にある「阪南市議会」のボタンをクリックしていただくとアクセスできます。多くのアクセスをお待ちしています。



## あなたも議会を傍聴しませんか

市議会には定例会（3月・6月・9月・12月）と臨時会（必要の都度）があります。傍聴には難しい手続きは不要です。本会議当日、議会事務局の受付で住所、氏名等を記入していただくだけで自由に傍聴できます。議場の定員は34人です（先着順・受付開始時間は8時45分から）。また、委員会室や市役所ロビーでのテレビ中継も行っています。どうぞお気軽にお越しください。

また、傍聴された方を対象にアンケートを実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。

なお、9月定例会の傍聴者数は、延べ28人でした。

9月定例会及び第2回臨時会は、新型コロナウイルス感染症対策として、受付時に検温及び手指消毒のご協力をいただきました。



会議録は、図書館・公民館・情報公開コーナー、または市議会ウェブサイトで閲覧できます。

9月定例会の会議録は11月末頃に完成予定です。

次の定例会は、  
**12月2日(水)から**  
の予定です。

※変更になる場合があります

詳しくは議会事務局まで

☎471-5680(直通)

## 国民健康保険料の減免制度について

河合 眞由美



**問** 国民健康保険料の減免制度については、国が財源をすべて負担することでコロナ対策の措置を行った。前年度と比較して30%減収の方を対象に最大全額免除を行うという大変値打ちある制度である。自治体は、手続きも可能な限り簡単な方法にし、できるだけ多くの方々に制度を活用してもらい、早急に実施する。そのために知恵を働かせることが大事だと考えるが、市の考えを伺う。

**答** 今年度の取組として、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯に対する減免があり、本感染症により主たる生計維持者が死亡などした場合、または収入が前年の3割以上減少が見込まれる世帯が対象となっている。また、生活困窮や一時的に生活が苦しくなった方については、相談窓口で相談していただき、他の制度で対応できるところはしていきたいと考えている。

国民健康保険料の減免制度をできるだけ多くの方々に活用してもらうため、市の考えを伺う。  
新型コロナウイルス感染症により収入が減少された方は減免があり、他にも他の制度で対応できる（市長）



### その他の質問事項

○小中学校休校に伴う給食関連業者に対する休業補償について  
○コロナ禍のもとで子どもの貧困の問題について



## 政務活動費の交付実績を、 阪南市議会ウェブサイトにて公開しています。

平成28年度分より、議員ごとの政務活動費の交付状況及びその使途、領収書等を公開しており、現在、令和元年度分までを公開しております。

市議会ウェブサイト、「政務活動費について」よりご覧ください。



# 委員会 レポート

このコーナーでは、本会議の付託案件以外の主な報告事項等を紹介いたします。

厚生文教常任委員会

9月8日

## 阪南GIGAスクールビジョンについて

### 「市からの報告内容」

現在、GIGAスクール構想(※)の実現に向け、ネットワーク構築や端末などのICT(※)環境整備を進めています。このICT環境を手段として、本市の教育内容の充実を図るため、阪南市の教育の目標を定め、活用の方について、「阪南GIGAスクールビジョン」として取りまとめました。また、これまでの教育実践の蓄積にICTの活用、また教育研修をミックスすることで、4つのキーワードを記載しています。

一つ目は、「授業改革」で、一人一台のタブレット端末の環境の中で、学びはより良い方へ転換され、深化します。二つ目は、「新しい学習活動」で、教科の学びを深め本質に迫るための探究

活動のプロセスを確立させます。学習課題に対し、探究し解決するプロセスは一人ひとり違うことから、自分のペースで学習を進めることが可能です。三つ目は、「家庭学習の充実」で、

これまでの家庭学習は、全員に共通した学習課題を課すことが大半でしたが今後は個別の習熟度にあった課題も並列して課すことが可能となり、学びの自立化の促進にもつながります。四つ目は、「教員の働き方改革」で、

校務や授業がスリム化され、教員が子どもや教材と向き合う時間を創り出します。今後とも、GIGAスクール構想に

関するあらゆる検討を重ね、各学校の先生方のご意見を頂戴しながら、「阪南GIGAスクールビジョン」を具体的に進めます。本件についての主な質疑・答弁は、

次のとおりです。

**委員** タブレット端末の調達について、新聞報道では、年度内の調達が厳しいとも言われている。教職員用のタブレットを早期に導入して、トレーニングをする必要があると考えるが。

**課長** タブレット端末の納入時期について、仕様書では一括と示しているが、教職員用を先に納入できるか等について、協議したい。

## GIGAスクール構想を踏まえた、阪南市の教育の目標

- ・タブレット端末を用いて積極的に、かつ意欲的に、探究心を持って学びに向かう子どもの育成
- ・学習ツールを活用し、自ら最適な学びを探し出し、課題を解決できる子どもの育成
- ・情報活用能力を高め、情報を選択し整理して、自分の意見や考えを発信できる子どもの育成
- ・コミュニケーションツールを活用して、他者とよりよく繋がれる子どもの育成
- ・ICTを駆使して、広く未来や国際社会で活躍できる子どもの育成



※GIGAスクール構想とは、義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境などを整備する計画のこと。  
※ICTとは、情報通信技術のこと。

## 編集後記

晩秋の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。議会では10月初旬の臨時議会で議長はじめ役員を選出が行われ、今回私が議会広報編集委員長に選ばれました。1年間市民の皆様にご協力いただけるよう頑張ります。

市議会では8月に議会改革推進検討会が設置され、議会のICT化や議会基本条例など、議会改革にも積極的に力を入れていきます。これからも市民に寄り添い、一人ひとりの「ワガゴト」として共に市の発展につながるよう「今」できることから取り組んでまいります。どうぞ皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

上 甲 誠

### 議会広報

#### 編集委員会委員

- |    |   |       |     |
|----|---|-------|-----|
| 委員 | 長 | 上 甲   | 誠   |
| 委員 | 副 | 中 村   | 秀人  |
| 委員 |   | 河 合   | 眞由美 |
| 委員 |   | 二 神   | 信和子 |
| 委員 |   | 角 野   | 信和子 |
| 委員 |   | 浅 井   | 妙子  |
| 委員 |   | 中 谷   | 清豪  |
| 委員 |   | 福 田   | 雅之  |
| 委員 |   | オ     | ブザー |
| 委員 |   | 議 長   | 中 谷 |
| 委員 |   | 副 議 長 | 福 田 |

## 「一」意見をください

本誌が、皆さんにとってより身近なものになりますよう、内容やレイアウトについての提言等、ご意見ご感想がございましたら、左記までお寄せください。

T59910292

阪南市尾崎町35番地の1

議会広報編集委員会

TEL47115680(直)

E-mail gikai-syomu@city.haman.lg.jp